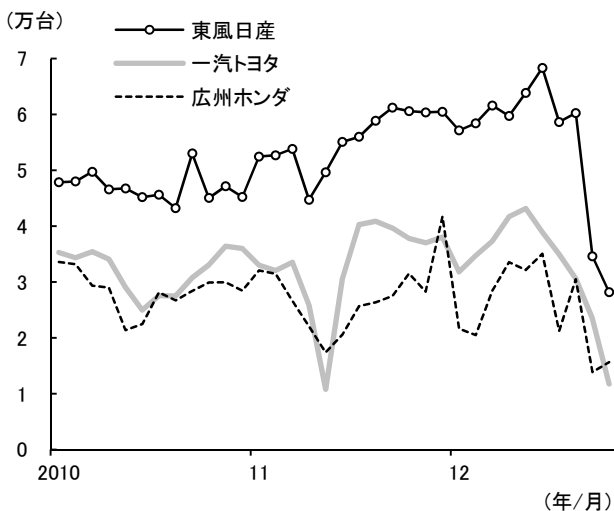


## 回復が期待される中国の日本車販売

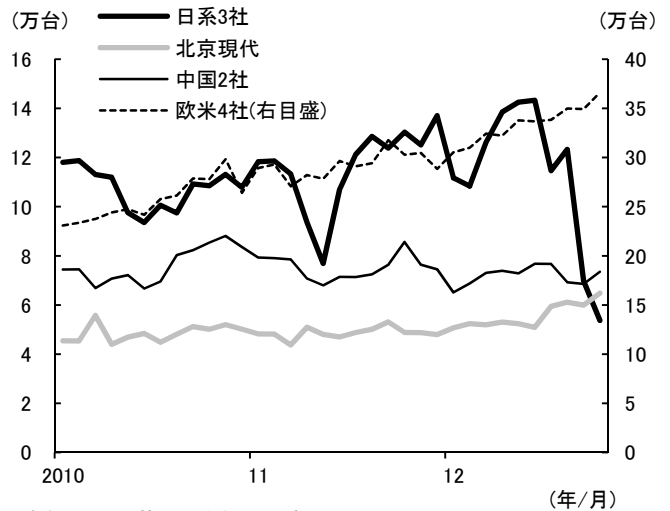
— 欧米韓メーカーへの乗り換えは限定的 —

- (1) 中国における日系メーカーの自動車販売は、反日デモの発生以降急減（図表1）。9～10月に3社合計で13万台程度下振れ。
- (2) もっとも、9～10月の日本車販売の大幅な下振れに対して、欧米車や韓国・中国車の上振れは小幅（図表2）。日本車の潜在的な購入層のうち、競合他社の車に乗り換える動きは限定的。日本車販売が下振れた分、自動車販売全体が下振れ。
- (3) この背景として、日本車が他国車と異なる顧客セグメントを持ち、差別化が図られており、代替困難であることを指摘可能。すなわち、日本車は①沿海部（図表3）、②大型車セグメント（図表4）で高い競争力。
- (4) 今後を展望すると、反日デモのマイナス影響が徐々に薄らぐことにより、中国の日本車販売は以前の水準に近づく見通し。買い控え需要が顕在化すれば、2013年入り後に大幅増の可能性も。

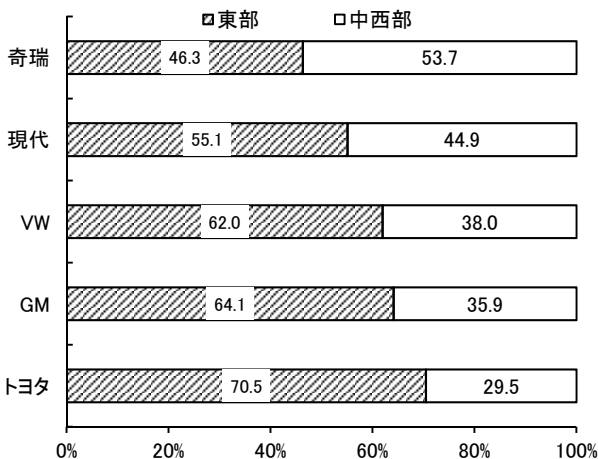
(図表1) 中国における日系乗用車の販売台数(季調値)



(図表2) 中国における乗用車の販売台数(季調値)



(図表3) 中国における乗用車登録台数のシェア(2008年)



(図表4) 中国における大型乗用車の販売台数のシェア(2010年)

